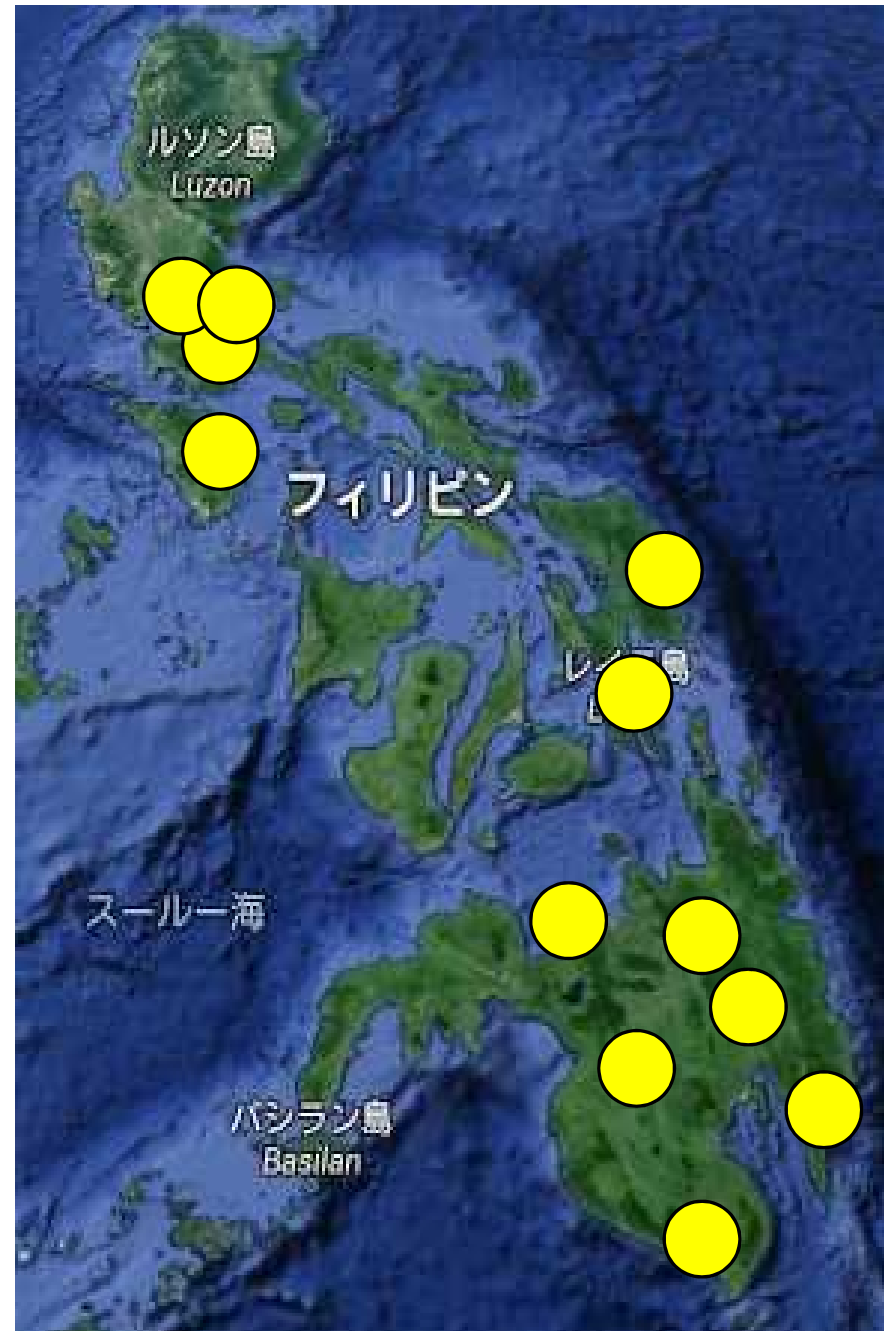


認定NPO法人アイキャン

- ・1994年設立
- ・有給職員70名
(日本人、フィリピン計)

提供: 認定NPO法人アイキャン



1、都市化に伴う弊害



提供：認定NPO法人アイキャン



提供：認定NPO法人アイキャン

～路上の子どもたち～

- 1) 地域行政の強化
- 2) 路上の子どもの強化
- 3) 最低限の福祉の提供



～ごみ処分場の子どもたち～

- 1) 協同組合による診療所の運営
- 2) FT生産者団体の設立と強化



提供: 認定NPO法人アイキャン

2、ミンダナオの和平と発展

3) 紛争地の子どもたち



提供: 認定NPO法人アイキャン

～紛争地の子どもたち～

「平和の学校」の設立

(1) ハード: 校舎の建設

(2) ソフト: 平和教育のカリキュラム化





提供：認定NPO法人アイキャン

3) 先住民の子どもたち



提供：認定NPO法人アイキャン

～先住民の子どもたち～

先住民に優しい学校作り

(1) ハード:校舎建設、学用品提供

(2) ソフト:教師・児童会の研修

先住民に優しい地域作り

(1) ハード:トイレ建設、植林

(2) ソフト:保健・技術訓練研修



提供: 認定NPO法人アイキャン

3、自然災害への緊急救援



5) 自然災害被災地の子どもたち



提供：認定NPO法人アイキャン

～自然災害被災地の子どもたち～

- (1) 食料の提供
- (2) 家の建設
- (3) 学校の建設・修復
- (4) 学用品の提供
- (5) 緊急雇用・生計



提供：認定NPO法人アイキャン

世界の貧困と向き合う： 国際協力のニーズとは

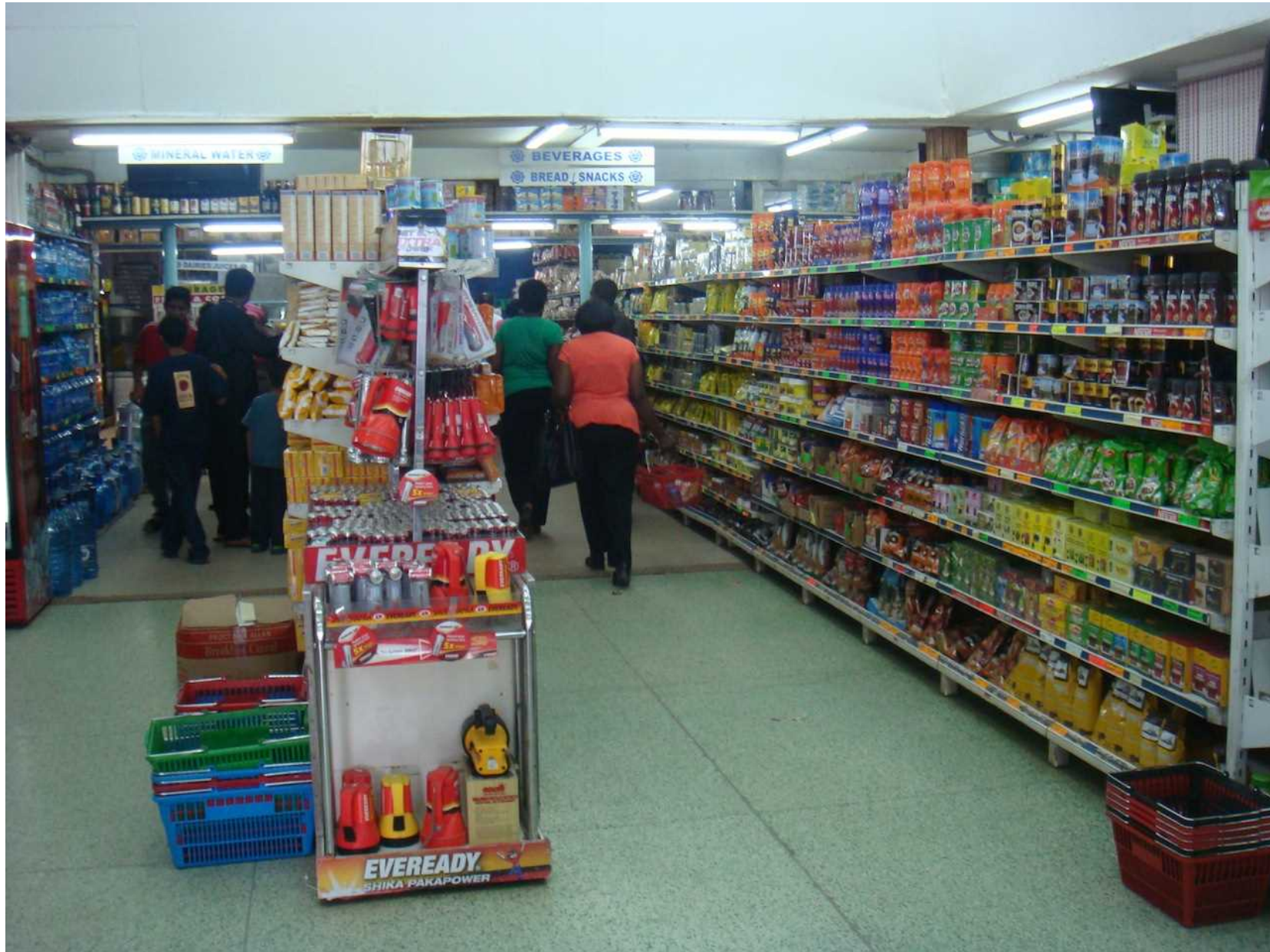
神戸大学大学院国際協力研究科
高橋基樹

開発途上国の光と影

- ケニア：ナイロビ
- 次々と建つ、高層ビル
- 貧困のすぐ隣にある富・・・
- 消費ブームの拡大







キベラ： 東アフリカ最大のスラム

- 「貧困」とは
- 単に、お金や物が無いことだけではない
- 社会のサービスがなく、教育が遅れ、不衛生な環境に囲まれていること・・・







現地の人々自身が貧困と闘っている

- 学校を作り、
- 診療所を作り、
- 水道や下水を自分たちの手で整備している





人々どうしの協力を妨げるのが紛争

- 貧困及び格差とそれへの怒りが紛争を生む
- 紛争は逆に貧困を悪化させる
- けれども、人々は紛争を防ぎ、共生するための方法を真剣に求めている











ミレニアム開発目標(MDGs): 貧困を減らすための国際社会の取り組み

目標と主なターゲット



目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅

- 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる
- 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる



目標2: 初等教育の完全普及の達成

- すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする



目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上

- すべての教育レベルにおける男女格差を解消する



目標4: 乳幼児死亡率の削減

- 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する



目標5: 妊産婦の健康の改善

- 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する



目標6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

- HIV/エイズの蔓延を阻止し、その後減少させる



目標7: 環境の持続可能性確保

- 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる



目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

- 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする

＊ロゴは「特定非営利活動法人(ほっとけない)世界のまずしさ」が作成したもの。

出所：外務省ホームページ

ミレニアム開発目標(MDGs)の達成状況

MDGsプログレス・チャート 2014

	目標	目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅			目標2: 初等教育の完全普及の達成	目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上			目標4: 乳幼児死亡率の削減	目標5: 妊産婦の健康の改善		目標6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延の防止		目標7: 環境の持続可能性確保			目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進
		極度の貧困半減	生産的かつ適切な雇用	極度の飢餓半減	初等教育の完全普及	初等教育における女性の就学率	女性賃金労働者の割合	国会における女性の議員の割合	5才以下死亡率2/3削減	妊産婦死亡率3/4削減	リプロダクティブ・ヘルスへのアクセス	HIV/エイズまん延防止	結核まん延防止	安全飲料水のない人口半減	衛生設備のない人口半減	スラム居住者の生活改善	インターネット利用者の割合
アフリカ	北	緑	黄	緑	黄	緑	黄	黄	緑	黄	黄	赤	黄	緑	緑	緑	緑
	サハラ	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄
アジア	東	緑	緑	緑	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	緑	緑	緑	緑
	東南	緑	緑	緑	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	緑	黄	緑	黄
	南	緑	緑	黄	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	緑	黄	黄	黄
	西	黄	緑	赤	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	赤	黄	黄	黄	赤	黄
オセアニア		黄	黄	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	赤	黄	黄
ラ米・カリブ		緑	黄	緑	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
中央アジア・コーカサス		緑	緑	緑	黄	緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	赤	黄	黄	黄

◆情報源: FAO, IPU, ILO, ITU, UNAIDS, UNESCO, UN-HABITAT, UNICEF, 国連人口部, 世銀, WHOにより提供された2014年6月現在のデータ及び推計。

◆枠内の色は、2015年の目標達成に向けた進展の度合いを表したものの。従って、各地域の状況の良し悪しと関連がある場合が多いが、必ずしも各地域の状況自体を表したものではない。

緑 目標達成済み、または、2015年までに目標達成が見込まれる。

赤 進展なし、または、悪化。

編集: 国連経済社会局統計部(外務省仮訳)

黄 現状のままでは2015年には目標達成不可能。

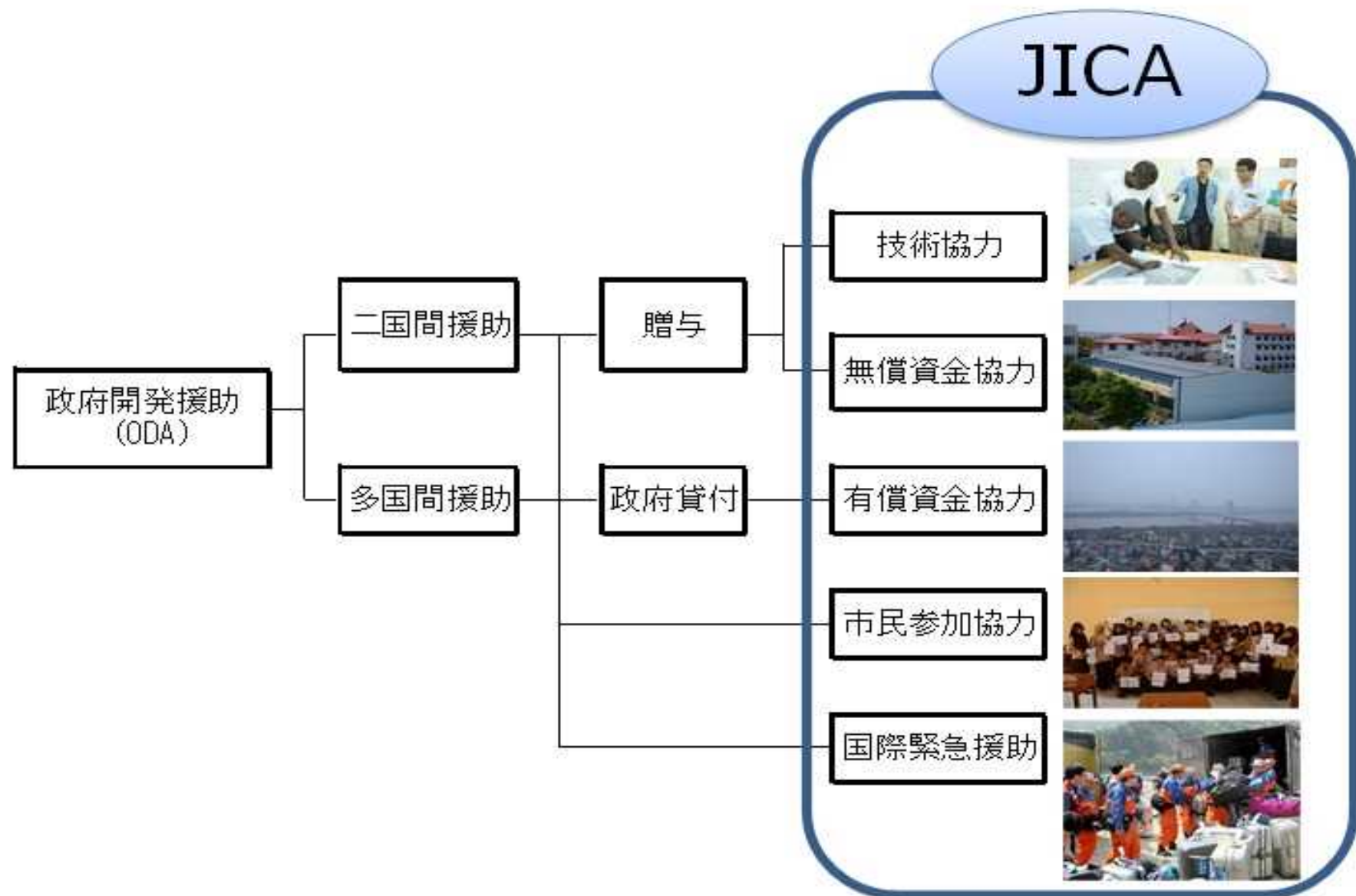
白 データが不十分。

出所: 外務省ホームページ

ポストMDGs

- 今年：2015年＝MDGs最終年を超えて
- 果たせなかったMDGsの達成に向けて
- 環境に配慮し、より持続可能な開発を
- 全ての人に開発・貧困削減：格差（国内、地域）を縮め、雇用を促進する
- より一層の国際社会の協力を

日本のODAの形態とJICA





国際協力機構（JICA）の概要

【組織】

- 設立 2003年10月1日（旧JICA設立1974年）
- 本部 31部・室・事務局・研究所
- 在外拠点 91ヶ所（64在外事務所及び27支所）
- 国内拠点 15ヶ所（地球ひろば、9国際センター、2訓練所、3支部）

JICAのビジョンと使命

Inclusive and Dynamic Development



JICAの事業概要

自助努力の促進

相手国政府との協議

現地の人材との協働

人材育成の支援



現地の様々なニーズ
対応、課題・問題の
解決支援



技術協力
プロジェクト



有償・無償資金協力



研修員受け入れ



緊急援助



ボランティア派遣



市民参加協力



民間連携



JICAのボランティアとは？

現地の人々とともに生活し、働き、彼らと同じ言葉で話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進するように活動します。貧困、医療、教育問題など、その国が抱える問題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目指した草の根レベルのボランティアです。



JICAのボランティア事業

青年海外協力隊は今年で50周年！

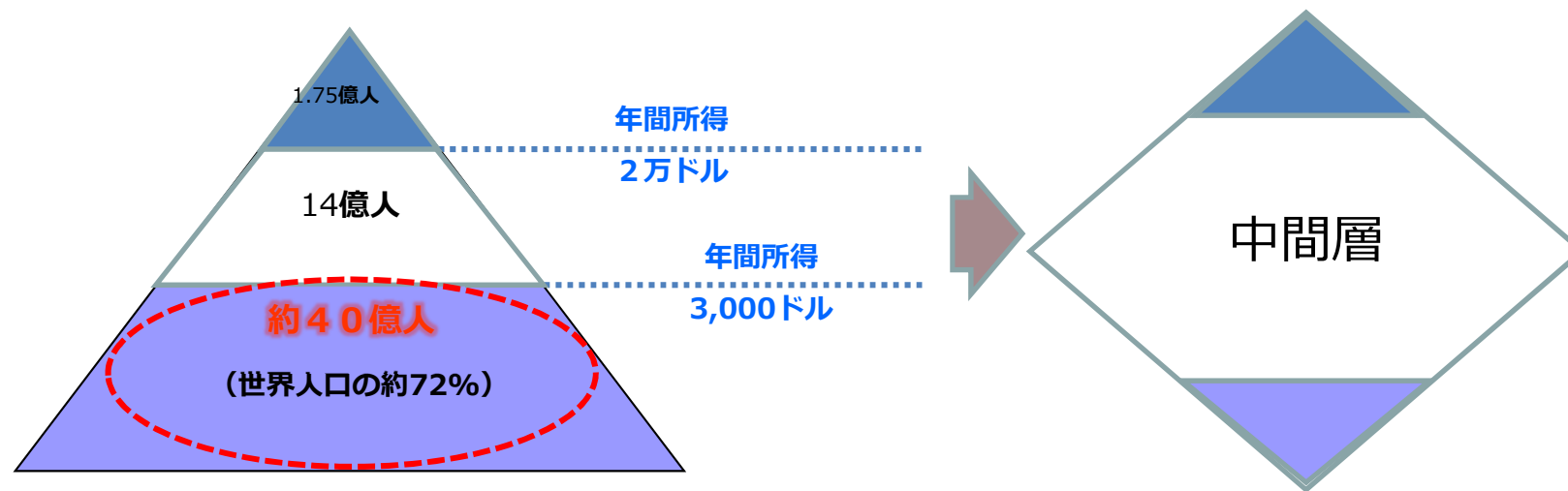
青年海外協力隊事業は2015年（平成27年）に50周年を迎えます。
50の「0」は、地球そして世界各地で活躍する協力隊を表し、
50を取り巻く「円」でグローバル感、飛躍感を表現しています。
「0」の5色は地球のアースカラー、そして各地域の様々な人種を意味しています。



民間連携事業 (BOPビジネス支援の例)

◆ BOPビジネスとは・・・

世界人口の7割を占める貧困層（BOP層：Base of the Pyramid）を対象に、衛生的な水供給など、BOP層のニーズを満たすための製品・サービスを、**民間ビジネスの原理を活かして持続的に届ける**ビジネス。**社会課題解決型の新しいビジネスモデル**として注目を集めています。



出典： Hammond, A, L, et al (2007) *The Next 4 Billion*. World Resource Institute, IFC
C.K.Praharad (2005) 「ネクスト・マーケット」 Wharton School Publishing

民間連携事業 (BOPビジネス支援の例)

マラリアの撲滅を目指す

年間約70万人の犠牲者を出すマラリアの撲滅に向け、住友化学株式会社が画期的な蚊帳を開発しました。日本政府や国際機関とも連携して製造・普及し、その最前線では元青年海外協力隊の社員たちも活躍しています。

- 企業 : 住友化学
製品 : 長期残効型防虫蚊帳
「オリセツトネット」
地域 : アフリカ他。WHOが普及推進。
効果 : 死亡率の削減。
治療費負担の減少等。



乳幼児の栄養不足を改善

途上国では乳幼児の栄養不足が大きな問題となっており、特に生後6～24か月の離乳期の栄養改善の重要性は世界共通の認識です。味の素の持つ職とアミノ酸の知見と技術を生かし、乳幼児の栄養改善に貢献できる食品を開発し、現地生産の立ち上げとともにBOP層に製品を届けるビジネスモデルの構築を目指しています。

- 企業 : 味の素株式会社
製品 : 栄養サプリ「KOKO Plus」
実施国 : ガーナ
効果 : 離乳期の子供たちの栄養改善



民間連携事業 (BOPビジネス支援の例)

『防虫関連製品の 防虫関連製品の貧困層向けビジネスモデル構築のための準備調査』



民間連携事業 (BOPビジネス支援の例)

ガーナ「離乳期栄養強化食品事業化F/S調査」



民間連携事業 (BOPビジネス支援の例)

ガーナ「離乳期栄養強化食品事業化F/S調査」



民間連携事業 (BOPビジネス支援の例)

ガーナ「離乳期栄養強化食品事業化F/S調査」





皆さんにご参加いただける 国際協力メニューの紹介

みなさんのライフスタイルや興味関心にあった国際協力がきっと見つかるはずです。
私たちJICAが行っている代表的な活動をご紹介します。

1. JICAボランティア
→青年海外協力隊、シニア海外ボランティアなど
2. 国際協力レポーター
→日本が海外で行っている国際協力の現場を直接自分の目で視察できます。
3. 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
→中学生、高校生が参加できるコンテストです。開発途上国の現状や日本との関係について理解を深める機会です。
4. 教師海外研修
→国際理解教育/開発教育に関心を持つ教員の皆さんに開発途上国の現状を視察していただきます。
5. なんとかしなきゃ！プロジェクト
→「なんとかしなきゃ！プロジェクト」は、まず世界の今を知り、あなたと世界が繋がっていることを感じ、あなたにもできる国際協力を見つけていただくためのツールです。

**他にもまだまだたくさんの活動があります。
是非、自分にあった活動を探してみませんか？**